

# 実施した渋滞対策の効果・影響の検討（案）

---

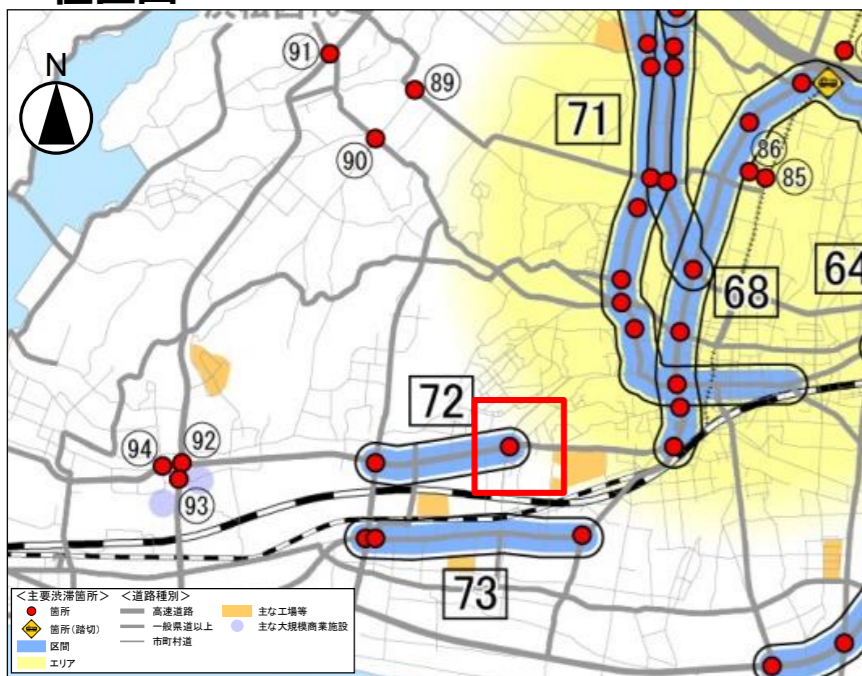
# 1. (主)浜松雄踏線(無名)交差点 (実施主体:浜松市)

## 1-1 (主)浜松雄踏線(無名)交差点 右折レーン延伸について

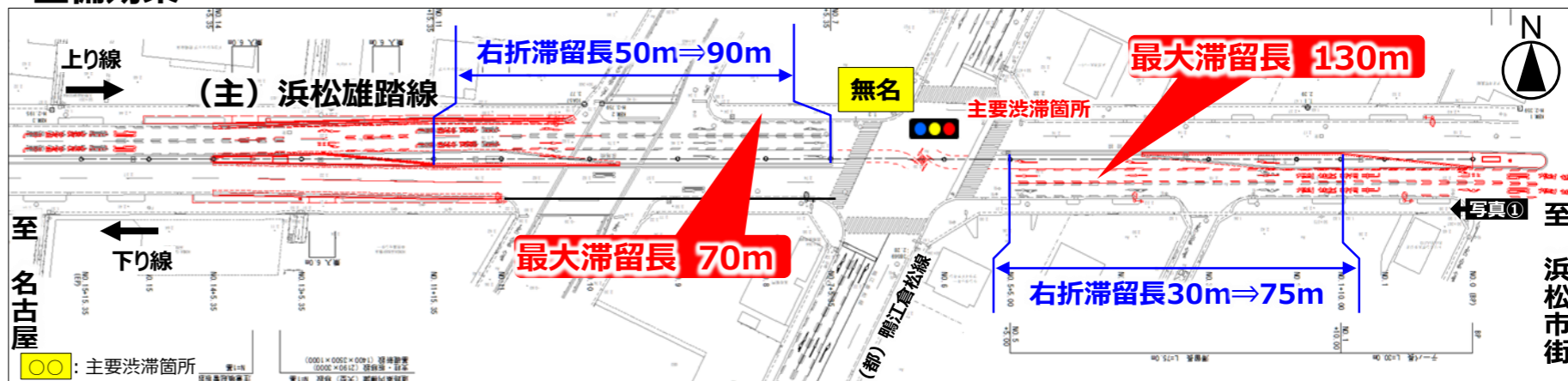
関連する主要渋滞箇所番号：**72**

- (主) 浜松雄踏線は、浜松市の主要幹線道路であり、(都) 鴨江倉松線との交差点において、交通渋滞が発生。
- 右折車線に滞留する車が直進車線の通行を妨げている状況。
- 交差点東側の右折帯延伸(30m⇒75m)、西側の右折帯延伸(50m⇒90m)が令和4年2月10日に完了。
- 右折車両滞留による本線交通への影響が緩和され、右折車線手前付近での速度向上が確認できる。

### ■ 位置図

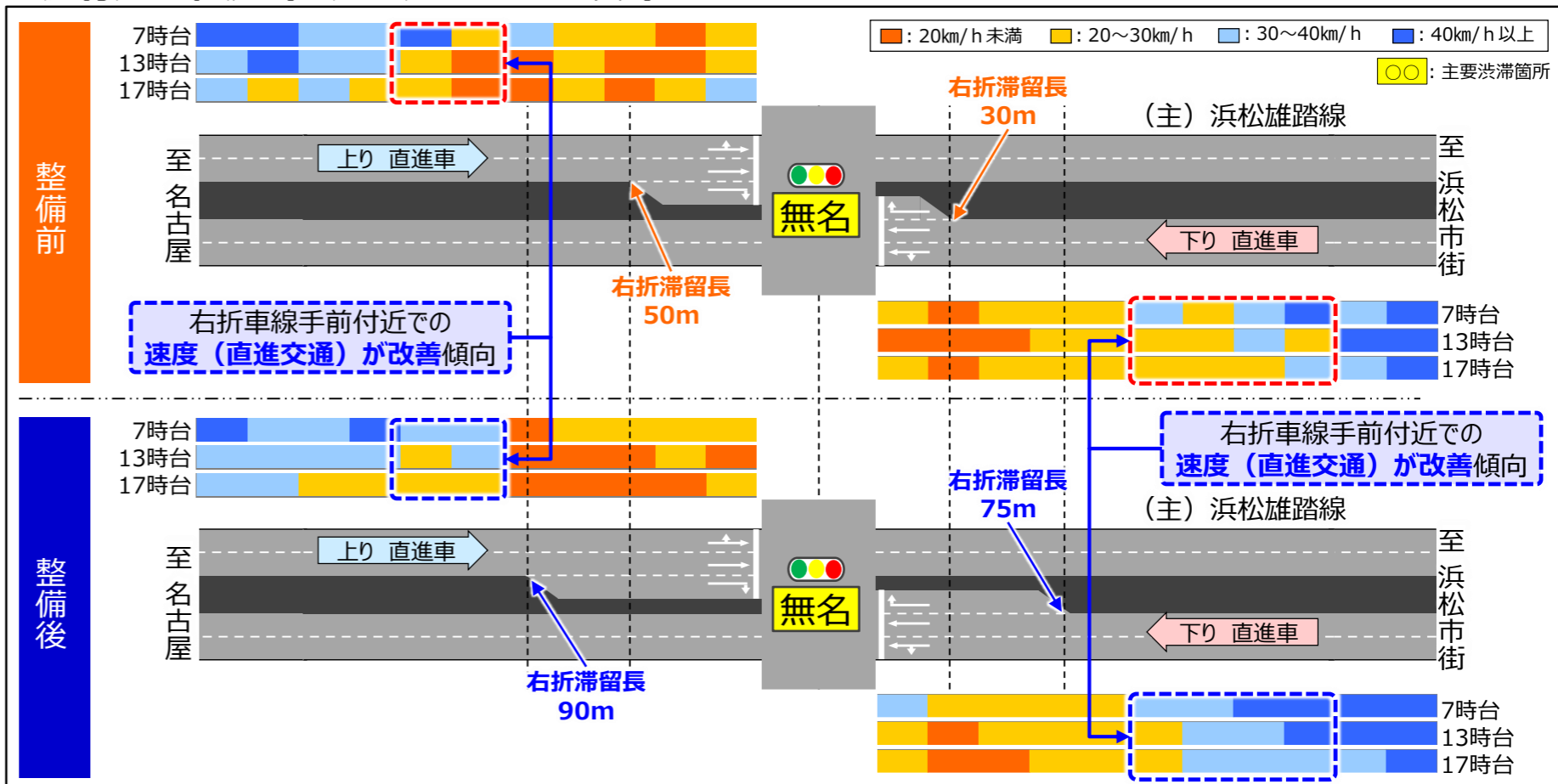


### ■ 整備効果



【出典】交通実態調査 H30.10.18 (木)

### ■ 旅行速度状況 (直進交通：20mピッチ)



旅行速度出典：ETC2.0プローブデータ (整備前：R3.3 平日 整備後：R4.3 平日)

### ■ 現地状況





### 3. 実施した渋滞対策の効果・影響の検討(案)

#### 3-1 結論(案)

- (主) 浜松雄踏線は、交差点東側・西側ともに右折帯延伸の工事が令和4年2月10日に完了。右折車両滞留による本線直進交通への障害が緩和され、右折車線手前付近での速度向上を確認。
- 国道138号須走道路および御殿場バイパス（西区間）は須走口南IC～ぐみ沢IC間が令和3年4月10日に開通。山梨方面の観光交通等が、信号が連坦する旧道からバイパスに約8割転換し、生活交通との分散が図られ速度低下が解消。